

ICT支援員だより

7月3日 北島中学校

こんにちは。ICT支援員の天羽です。
今日はみなさんの身近にある、スマートフォンやタブレットのフィルタリングについてお話します。



フィルタリングとは？

スマートフォンやタブレットを購入する際によく聞く「フィルタリング」簡単にいうと、違法、有害サイトに繋がらないようにしたり、使用の制限をかけることができる機能のことです。
安全で便利な機能ですが、普及率はなかなか上がりず、トラブルや事件に巻き込まれるケースは後を絶ちません。利用者だけでなく、保護者の方のネットリテラシーの向上も重要視されています。

フィルタリングは、携帯各社で提供している「あんしんフィルター」のようなサービスや、端末で設定ができる「スクリーンタイム」や、アプリの「ファミリーリンク」などがあります。

それぞれ特徴があり、年齢に適した設定や、使用時間の設定、アプリの制限も行えます。

また、高額課金も近年よく耳にするトラブルのひとつです。保護者の方は必ず、安易に課金ができない設定をし、パスワード管理をしっかり行いましょう。

回線契約をしていない端末(Wi-Fiでのみ使える端末)にもフィルタリング機能は設定できます。



「フィルタリングって言われてもよくわからないし・・・」や「設定が面倒」「子供にまかせている」など様々な理由で設定をしてない保護者の方もいらっしゃるかもしれません。
フィルタリングを利用しない場合のリスクをご紹介します。

犯罪に巻き込まれるリスク

「これくらいなら大丈夫」と書き込んだ内容や、何気なく撮影した写真に写り込んだものから、個人の特定はできるものです。特にSNSでは過去に投稿した内容と照らし合わせるとより簡単に特定できる危険性があります。安易に学校がわかるような内容や、本名を使う、許可なく友達と撮影した写真をアップするのはやめましょう。



個人情報の漏洩や、個人特定のリスクにつながる

SNSは楽しくて便利である一方、犯罪の入口になるケースは非常に多いです。ニュースでよく聞く「闇バイト」もそうですね。また、SNSで知り合った人に会いに行き事件に巻き込まれるニュースも何度もニュースで見たことがあるのではないのでしょうか。また近年では、押しグッズやチケットの売買で詐欺にあうというケースも多発しています。
未成年だけでなく大人になっても、見えない相手とやりとりはリスクが非常に高いということを念頭に置いておきましょう。文字だけのやりとり、相手が言っている性別や年齢は偽りかもしれません。

スマートフォンやタブレットは非常に便利で、今では生活に欠かせないものとなっている方も多いと思います。
これまで挙げた例は一例にすぎませんが、他人事ではなく、誰にでも起こりうることです。
夏休みになると使用頻度も上がるかと思いますが、利便性と危険性をもう一度ご家庭で確認し、使用のルールの見直しを行ってみたいはいかがでしょうか。

